

<2016 年度に開催した編集制作研修会です。研修会は、終了しています。>

(社) 日本楽譜出版協会制作委員会主催

研修会開催のご案内

【企画力を高めるために】

講師：長田暁二（音楽文化研究家）

桂川 潤（ブックデザイナー）

（内容）出版社で編集・制作に携わる人間には、実に多様な仕事があります。その中でも最も大事な仕事は「企画」であると言えるでしょう。「企画」こそが出版社の命運を左右するのです。そのためには様々な知識を持ち、常に感性を磨かなくてはなりません。今回、音楽文化研究家 長田暁二先生には「音楽業界の過去・現在・未来」、ブックデザイナー 桂川 潤先生には「編集者とデザイナーの危ない関係」と題し、必ず仕事のスキルアップにつながる講演をしていただきます。どうぞ奮ってご参加ください。

日 時：2016年10月27日（木） 13：30～17：00

会 場：日本キリスト教団 大会議室

（〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18）別紙地図参照

東京メトロ早稲田駅 2または3B出口から穴八幡方向へ徒歩6分

定 員：約60名

会 費：1名につき¥4,000（含消費税）

申込締切：2016年10月12日（水）

払込期限：2016年10月20日（木）

講師プロフィール

長田 暁二 (おさだ ぎょうじ/音楽文化研究家)

1930年、岡山県生まれ。駒沢大学英米文学科卒。大学卒業後、キングレコードに入社。30年間にわたりレコードディレクターひと筋に務める。1958年の芸術祭賞を皮切りに、日本レコード大賞企画賞3回、1974年度フランスACCディスク大賞を受賞するなど、企画制作したレコードの受賞多数。その後、ポリドール学芸部長、徳間音工常務取締役などを経て、1982年に明治音楽企画を設立、代表取締役として現在に至る。

長年ディレクターとして活躍する一方、1980年頃から、音楽文化研究家として精力的に文筆活動に取り組む。童謡、歌曲、民謡、軍歌、懐メロ、歌謡曲、オペラとその幅は極めて広い。特にメディアの発達と歌の変化についての研究では第一人者的存在である。

『日本抒情歌大全集・全4巻』（ドレミ楽譜出版社）、『音楽ものしり事典』（ヤマハミュージックメディア）、『戦争が遺した歌～歌が明かす戦争の背景～』（全音楽譜出版社）など、その著書は200冊を超える。新聞、雑誌、CD全集などのライナーノートへの執筆もすこぶる多い。また、ショーステージの構成・演出、テレビ・ラジオの放送台本執筆、出演も数多い。

2007年に日本童謡協会童謡文化賞、2014年にJASRAC音楽文化賞を受賞。

桂川 潤 (かつらがわ じゅん/ブックデザイナー)

装丁家、イラストレーター。1958年東京生まれ。立教大学大学院文学研究科修士課程修了。キリスト教系NGOや研究所の勤務を経て、1995年からブックデザイン（装丁）の仕事をはじめ。『吉村昭歴史小説集成』（岩波書店）の装丁で第44回（2010年）造本装幀コンクール日本書籍出版協会理事長賞（事典・全集部門）を受賞。「世界でもっとも美しい本」（於：ライブチヒ）等で展示される。

著書に『本は物（モノ）である——装丁という仕事』（新曜社/2010年）、共著書に『本は、これから』（池澤夏樹＝編/岩波新書/2010年）、『人権とキリスト教』（明治学院大学キリスト教研究所＝編/教文館/1993年）、共訳書に『民衆神学を語る』（安柄茂＝著/新教出版社/1992年）等。